

～ 受講生・ティーチングアシスタントの感想 ～

**松田佳凜さん(薬学部 1 年生)**

「大変だったけどめっちゃ楽しかった。

自分とキャラを分離させるのが難しかった。自分の思考なのか、違うのか分からなかった。でも、結果的に自分がノリノリになれるキャラクターが出来て、あの時こうしたら良かったなと思いながら、自分ではないキャラクターとして別のことをするのが楽しかった。授業を通して語彙力が高まったかもしれない」

**金子莉乃さん(TA / 教育学部 3 年生)**

規制の緩和によってオンラインやオンデマンド形式での講義は少なくなりつつありますが、話さない期間が長かったこともあり、誰かとじっくり語り合うという機会は依然として少ないと、一学生として実感しています。そんな中で、言葉を尽くして行うこの講義は、受講生にとって珍しかったのか、初めはなかなか会話が続かなかったり、だれかが話し始めるのを待ったりなど、慣れない様子が見られました。しかし、徐々に自分の考えや気持ちを語るようになり、議論が盛り上がっていき、講義の終わりには「色々な考え方が知れて面白かった」と話してくれました。誰かとじっくり語り合うことの楽しさ面白さ、それによって自分の世界が広がる感覚を実感してくれたことが分かり、本当に嬉しく思いました。今回の講義のような機会がどんどん増え、多くの学生が自分の世界を広げていくことが出来れば素敵だと思います。

**成田凜太郎さん(TA / 法学部 3 年生)**

本講義は、他のそれとは目的や要求能力の毛色が異なるものとなっています。そのため準備進行含めて自身の課題は多く、簡単には解決しないものも存在しますが、それら含めて授業外に応用できるものであり、刺激を受ける良い環境であったと感じています。